

## GRIPS 開発フォーラムセミナー

2008年5月22日(木) 9:30-12:00

### 途上国の真のオーナーシップ育成のために —日本と北欧のアジアでの援助経験をもとに—

途上国の「オーナーシップ(主体性)」尊重は、現在の援助アプローチの基本原則として定着しています。この背景には、主にサブサハラ・アフリカにおける構造調整融資の経験や援助効果向上にむけた国際援助社会の議論がありますが、同時に、この議論自体がドナー主導によるもので、果たして誰にとってのオーナーシップか(ownership of what, by whom?)という問題提起がなされることもあります(OECD 2007)<sup>1</sup>。

オーナーシップが指し示すものは日本にとって決して新しい概念ではありません。日本は国際援助社会がオーナーシップの重要性を注目する以前から、「自助努力」支援をうたい、開発プロセスにおける途上国の主体性の尊重を援助の基本理念としてきました。また、日本は自助努力支援をアジアを中心に実践してきましたが、経済的自立、援助からの卒業をめざすという意味では、オーナーシップよりも広範な概念とも言えるでしょう。

こういった問題意識にもとづき、セミナーでは北欧4カ国(デンマーク、フィンランド、ノルウェー、スウェーデン)と日本の開発援助やアジア研究における専門家の参加を得て、途上国のオーナーシップについて多面的な検討を行い、真のオーナーシップとは何を意味するのか、途上国のオーナーシップを育成するために援助国・機関(ドナー)はどのような貢献ができるのか、何に留意すべきかなどについて、議論を深めたいと思います。このセミナーは、2004年から2006年にかけて実施された北欧と日本の対アジア援助の比較研究プロジェクト(オーナーシップとパートナーシップに典型される、途上国とドナーの援助をめぐる関係)が基盤となっています<sup>2</sup>。

2008年9月には「パリ宣言」のフォローアップとして援助効果向上に向けた取組みを議論するOECD主催のハイレベル会合がガーナで予定されています。開発援助政策や援助効果向上について関心のある政策担当者、実務者、研究者、NGO関係者など、多くの皆様のご参加を歓迎いたします。

---

<sup>1</sup> 例えば、OECD Development Centre による“Ownership in Practice”(Informal Experts' Workshop, Severes, September 27-28 2007)における議論。

<sup>2</sup> この共同研究プロジェクトは、Danida(デンマーク)、Finnida(フィンランド)、Norad(ノルウェー)、SIDA(スウェーデン)及びJBIC、JICAの資金協力をえて実施されました。研究成果は右の出版物として刊行されています。Alf Morten Jerve, Yasutami Shimomura, and Annette Skovsted Hansen eds., *Aid Relationships in Asia—Exploring Ownership in Japanese and Nordic Aid*, Palgrave, December 2007.

## プログラム

### 途上国の真のオーナーシップ育成のために —日本と北欧のアジアでの援助経験をもとに—

日時：2008年5月22日（木）9:30~12:00

場所：GRIPS 六本木キャンパス、4階、4A会議室

#### プログラム：

- 9:30-9:40            オープニング
- 9:40-9:50            日本・北欧の比較援助研究についての基本視点  
・ マリー・ソーデルバーク氏 / スtockホルム経済大学教授、スウェーデン  
・ 下村恭民氏 / 法政大学大学院教授
- 9:50-10:40          真のオーナーシップとは（Ownership of What, by Whom）？  
・ 援助をめぐる関係とオーナーシップの概念    日本と北欧援助を比較して  
   アルフ・モーテン・ジャブ / Chr. Michelsen Institute、ノルウェー  
・ 東アジアの視点からのオーナーシップ論とベトナムの事例  
   大野泉 / 政策研究大学院大学教授
- 10:40-11:10        パネリストからのコメント、各国の経験から  
・ アネット・スコープスト・ハンセン氏 / アールス大学助教授、デンマーク（ネパール）  
・ 下村恭民氏（タイ）  
・ マリー・ソーデルバーク氏（モンゴル、中国）  
・ 島村真澄氏 / 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング研究員（ベトナム）
- 11:10-12:00        意見交換

\* 国別事例研究の詳しい紹介は、2008年5月23日（金）14:00~17:30に予定されているFASIDセミナーで行われます。

#### お申込み方法：

氏名（ふりがな）、所属先、役職、お電話番号、Eメールアドレス、[学籍番号 GRIPSの学生]を明記のうえ、5月19日（月）までに下記宛て、Eメールにてお申し込みください。

連絡先 GRIPS 開発フォーラム（担当：岩橋美智子）

Tel: 03-6439-6337

Fax: 03-6439-6010

E-mail: michiko@grips.ac.jp